



埼玉縣立上尾高等学校

令和2年度 第3号 令和2年6月19日(金) 発行
発行責任者 校長 林 昭雄

生徒が登校するようになり、少しずつ学校にも活気が戻りつつあります。時差通学と生徒面談は26日(金)まで継続ですが、22日(月)からは、全校生徒が時間割どおりに学校生活を送ります。部活動も再開されます。そして29日(月)からは通常時間に登校し、45分授業を通常通りの日課で行う予定です。Google Classroomを使って、毎朝の体調管理をしています。6時に配信し、前日と朝の検温結果や心身の調子を入力してから登校することになっています。登校できなかったことに加え、新しいクラス、新しい人間関係、暑さなどによる心身の疲労の蓄積が心配です。7月1日からは3者面談を予定していますが、お子様の様子がいつもと違うと感じましたら、担任や学校にご連絡ください。また、県から通知のあった「LINEを使った安心 SNS 教育相談」の資料をお子様に配布しましたので、ご覧ください。

- 日々のルーティンを作り、それを守る
 - 健康的なライフスタイルを維持する
 - 自分のできる努力をする
- ストレス回避の方法です。

子供も大人も、みんなで集まってワイワイ、ガヤガヤすることは、楽しいことです。気の合う仲間と集まることは、素晴らしいストレス発散であり、心を癒してくれますが、今は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、ソーシャル・ディスタンスが呼びかけられています。対面で座ることも、握手さえも、控えることになりました。寂しい思いをしている生徒も、たくさんいることでしょう。人と離れていなければならない、やりがいのある活動も、心休まるリラックスできる集まりも、今はお休みです。ほんの少し自分に優しく、自分をいたわり、相手に優しく、思いやりの心を持ち、理解し合うことでその気持ちは伝わります。

ウイルスとの共存はこれからも続きそうです。それでも、いつかは終わります。この混乱が終わった後で、人間関係が壊されてしまうのではなく、協力して乗り切ったときさわやかに思えるようになることを目指しています。

6月11日(木)には3年生の就職・公務員向けガイダンスが行われました。就職試験の見通しとともに「みんなの良さを分かってくれる企業はきっとある。だから最後まであきらめないで。」と呼びかけがありました。厚生労働省は11日、来春卒業の高校生の就職活動開始時期を1カ月延期すると発表しました。学校から企業への応募書類提出開始は10月5日から、企業の選考と内定出しの開始は10月16日となります。

大学入学共通テストは、感染が拡大した場合には改めて対応が検討されるようですが、現時点では予定通り来年1月16、17日に実施され、休校長期化を受けた学習の遅れに配慮し、出願時からの選択も認めて1月30、31日に追試日を設定する見込みです。また2月にも設定されるようですが、6月中にある正式発表をご確認ください。

この後、学校では、6月23日(火)に1・2年生の看護医療系進学希望者ガイダンスが行われます。6月27日(土)は2・3年生普通科の模試、7月6日(月)求人票公開、7月8日(水)小論文模試、11日(土)指定校推薦ガイダンス、14日(火)早期受験者面接ガイダンス、18日(土)小論文個別指導ガイダンスなどを予定しています。

夏季休業中の補習日程を調整しています。6月26日(金)から7月6日(月)までを申込期間とする予定です。積極的な参加を期待しています。

「進路の手引き」を2・3年生に配布しました。1年生には26日(金)配布予定です。進路に関するご相談などがありましたら、担任・学校までご連絡ください。

今年度から始まる新大学入試制度の概要をまとめましたのでご確認ください。入試自体が複雑化しています、また新型コロナウイルスの関係で日程等の変更もありますので各校の入試要項を定期的に確認してください。

1 2021年大学入試はこう変わる

入試区分	一般入試／AO入試／推薦入試	➡	一般選抜／総合型選抜／学校推薦型選抜
共通試験	大学入試センター試験	➡	大学入学共通テスト
個別入試	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書に記載される「学校の諸活動」「資格検定」等も評価対象となる。 ・難度の高い「記述式問題」の導入が推奨されており、出題する大学が増加する。 ・私立大を中心に、英語民間試験を活用した入試が増加する。 		

2 早わかり 新「入試区分」

AO入試	➡	総合型選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・志願者提出の資料と面接、学科試験等 (出願9月1日～、合格発表11月1日～)
推薦入試 (指定校、公募)	➡	学校推薦型選抜 (指定校、公募)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校作成の推薦書と面接、学科試験等 (出願11月1日～、合格発表12月1日～)
一般入試	➡	一般選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト、個別試験 ・調査書も選抜に活用、評価対象に (共通テスト1/16・17、 個別試験日2/1～3/25、発表～3/31) *予定

3 要注意な変更点

- (1) 新制度では、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」でも、学科試験等で「学力」が新たに問われる点
が大きな変化です。
- (2) 「国立」「公立」「私立」を問わず、「AO（総合型選抜）」「推薦（学校推薦型選抜）」の比率は、
増加傾向ですが、いずれの入試区分でも「学力」が求められています。

4 英語民間外部試験について

「大学入試英語成績提供システム」の導入は見送りにりましたが、これまでも国公立や私立大学の入試では外部試験は活用されてきました。社会全体のグローバル化が進む今、外部試験重視の流れは今後も加速していくものと言われています。

現在は、各大学が実施する「個別選抜」で活用されています。大学が外部試験をどのように活用するの
のかは、大学が独自に設定することですので、情報の獲得が必要です。

- (1) どの「選抜区分（一般／総合型選抜／学校推薦型選抜）」で活用するのか
*従来はAOが中心でしたが、近年は「一般」にも急速に広がっています。
- (2) どの「学部・学科」で活用するのか
*大学全体で統一されているとは限りません
- (3) どの「外部試験」を活用し「基準（スコア）」をどのように設定するのか
- (4) どの技能を評価するのか、必ずしも「4技能」とは限りません
- (5) 外部試験のスコアや資格の「有効期間」をどのように設定しているのか
- (6) 「出願要件」なのか「加点式」なのか

5 「共通テスト」の概要

- (1) 実施時期：2021年1月16日(土)・17日(日) *予定
 (2) 出題範囲：6教科30科目(現在の情報、今後の変更もありうる)
 (3) 出題形式：全問マーク式(国語・数学で一部導入予定だった記述式は実施見送りとなりました)

6 「共通テスト」の教科目・試験時間・配点

教科	科目	解答方法	試験時間	配点
国語	国語	マーク式	80分	200点
地理歴史	世界史A、世界史B 日本史A、日本史B 地理A、地理B	マーク式	1科目60分 2科目120分	100点 200点
公民	現代社会、倫理、政治・経済 「倫理、政治・経済」			
数学	① 数学Ⅰ、数学ⅠA	マーク式	70分	100点
	② 数学Ⅱ、数学ⅡB他		60分	100点
理科	① 物理基礎、化学基礎 生物基礎、地学基礎	マーク式	2科目60分	100点
	② 物理、化学、生物、地学		1科目60分 2科目120分	100点 200点
外国語	英語	マーク式	リーディング 80分 リスニング 30分	100点 100点
	ドイツ語、フランス語 中国語、朝鮮語		80分	200点

*上の表の**太字部分**が、これまでの「センター試験」と異なる部分です。

*2017年、18年に実施された試行調査からは、センター試験と比べて出題傾向に特徴が見られます。

①資料(文章、図、グラフ等)の活用力や思考力を測る問題の重視

「大量の資料を読み取り、その主旨を解答させる」「複数の知識を組み合わせて解答させる」

「ある知識をもとに他の事項を推測し解答させる」「答えを導くプロセス自体を解答させる」等のパターン。

②身近な素材、実用的文章からの出題

日常的な出来事や学校の授業を場面として想定させる出題。リード文も会話や討論、新聞記事などを題材としたものが増加。

*出題傾向が新しくなっているが、「日常授業で提示される基礎知識が出題の中心であること」には変わりはない。

*過去問がない中での準備となりますが、補習や模試の積極的活用、市販の対策問題集の活用が有効です。

*共通テスト英語について

・配点の変更(旧)筆記200点、リスニング50点⇒(新)リーディング100点、リスニング100点

・リーディング:「読解」中心で、発音・アクセントや語句整序は単独では出題されない

読む量は増えるが、試験時間(80分)は変更なし

・リスニング:2回読みだけでなく、難度の高い問題を中心に1回読みも出題

配点変更と1回読みの出題で、設問数・分量は増加するが、試験時間(30分)は変更なし